



## 2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社コアコンセプト・テクノロジー 上場取引所 東  
コード番号 4371 URL <https://www.cct-inc.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)金子 武史  
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営管理本部長 (氏名)梅田 芳之 (TEL)03(6457)4344  
定時株主総会開催予定日 2024年3月28日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年3月28日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期の連結業績 (2023年1月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

|           | 売上高                      |   | 営業利益                 |   | 経常利益  |   | 親会社株主に帰属する当期純利益 |   |
|-----------|--------------------------|---|----------------------|---|-------|---|-----------------|---|
|           | 百万円                      | % | 百万円                  | % | 百万円   | % | 百万円             | % |
| 2023年12月期 | 15,921                   | — | 1,744                | — | 1,765 | — | 1,303           | — |
| 2022年12月期 | —                        | — | —                    | — | —     | — | —               | — |
| (注) 包括利益  | 2023年12月期 1,303百万円 ( —%) |   | 2022年12月期 —百万円 ( —%) |   |       |   |                 |   |

|           | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|-----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
|           | 円 銭        | 円 銭               | %          | %        | %        |
| 2023年12月期 | 76.59      | 72.66             | 43.0       | 31.4     | 11.0     |
| 2022年12月期 | —          | —                 | —          | —        | —        |

(参考) 持分法投資損益

2023年12月期

31百万円

2022年12月期

—百万円

(注) 当社は、2023年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期の数値及び対前期増減率を記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

|           | 総資産   | 純資産   | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|-------|-------|--------|----------|
|           | 百万円   | 百万円   | %      | 円 銭      |
| 2023年12月期 | 6,111 | 3,208 | 52.5   | 188.57   |
| 2022年12月期 | —     | —     | —      | —        |

(参考) 自己資本

2023年12月期

3,207百万円

2022年12月期

—百万円

(注) 当社は、2023年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期の数値については記載しておりません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

|           | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|-----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
|           | 百万円              | 百万円              | 百万円              | 百万円           |
| 2023年12月期 | 1,162            | △429             | △1,112           | 1,819         |
| 2022年12月期 | —                | —                | —                | —             |

(注) 当社は、2023年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

|               | 年間配当金  |        |        |      |      | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|-----------|----------|------------|
|               | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |           |          |            |
|               | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |           |          |            |
| 2022年12月期     | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 | —         | —        | —          |
| 2023年12月期     | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 | —         | —        | —          |
| 2024年12月期(予想) | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 | —         | —        | —          |

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は対前期増減率）

|     | 売上高    |      | 営業利益  |      | 経常利益  |      | 親会社株主に帰属する当期純利益 |      | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
|     | 百万円    | %    | 百万円   | %    | 百万円   | %    | 百万円             | %    | 円 銭            |
| 通 期 | 20,856 | 31.0 | 2,398 | 37.5 | 2,399 | 35.9 | 1,646           | 26.3 | 96.79          |

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

|                     |           |              |           |              |
|---------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年12月期 | 17,384,800 株 | 2022年12月期 | 16,512,000 株 |
| ② 期末自己株式数           | 2023年12月期 | 376,250 株    | 2022年12月期 | 150 株        |
| ③ 期中平均株式数           | 2023年12月期 | 17,013,884 株 | 2022年12月期 | 16,015,985 株 |

（注） 当社は、2022年4月1日及び2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割をそれぞれ行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

（参考） 個別業績の概要

1. 2023年12月期の個別業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

|           | 売上高    |      | 営業利益  |       | 経常利益  |       | 当期純利益 |       |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 百万円    | %    | 百万円   | %     | 百万円   | %     | 百万円   | %     |
| 2023年12月期 | 15,630 | 29.0 | 1,790 | 59.7  | 1,785 | 56.7  | 1,334 | 59.4  |
| 2022年12月期 | 12,113 | 55.3 | 1,120 | 105.2 | 1,139 | 108.6 | 836   | 103.9 |

|           | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり当期純利益 |
|-----------|------------|-----------------------|
|           | 円 銭        | 円 銭                   |
| 2023年12月期 | 78.42      | 74.40                 |
| 2022年12月期 | 52.24      | 46.07                 |

（注） 当社は、2022年4月1日及び2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割をそれぞれ行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

|           | 総資産   |  | 純資産   |  | 自己資本比率 |        | 1株当たり純資産 |  |
|-----------|-------|--|-------|--|--------|--------|----------|--|
|           | 百万円   |  | 百万円   |  | %      | 円 銭    |          |  |
| 2023年12月期 | 6,012 |  | 3,237 |  | 53.8   | 190.30 |          |  |
| 2022年12月期 | 5,114 |  | 2,846 |  | 55.6   | 172.29 |          |  |

（参考） 自己資本 2023年12月期 3,236百万円 2022年12月期 2,844百万円

（注） 当社は、2022年4月1日及び2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割をそれぞれ行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況            | 2  |
| (1) 当期の経営成績の概況         | 2  |
| (2) 当期の財政状態の概況         | 3  |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況    | 4  |
| (4) 今後の見通し             | 4  |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方  | 4  |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記        | 5  |
| (1) 連結貸借対照表            | 5  |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7  |
| 連結損益計算書                | 7  |
| 連結包括利益計算書              | 8  |
| (3) 連結株主資本等変動計算書       | 9  |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書     | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項     | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記)        | 11 |
| (企業結合等関係)              | 11 |
| (セグメント情報等)             | 11 |
| (1株当たり情報)              | 12 |
| (重要な後発事象)              | 12 |
| 4. その他                 | 14 |
| 役員の異動                  | 14 |

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社が判断したものです。

なお、当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しておりますが、参考として、当連結会計年度の連結経営成績と前事業年度の個別経営成績の比較及び当連結会計年度末の連結財政状態と前事業年度の個別財政状態の比較情報を記載しております。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、コロナ禍明け後の経済活動の正常化による需要回復や、雇用情勢の改善、賃上げが進み、景気は緩やかに回復しています。一方でロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギーの供給抑制に伴う急速な物価の上昇や、世界的な金融引き締めを背景とした景気後退懸念等、景気の先行きについては依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、当社グループが属する情報サービス業界においては、中長期的にシステムインテグレーション（SI）市場規模に緩やかな拡大が見込まれ、その中でも当社グループがサービスを提供しているデジタルトランスフォーメーション（DX）市場が占める割合は拡大が見込まれます。当社グループが注力する製造業・建設業・物流業では人手不足への対策、ベテランノウハウの継承、脱炭素への取組みが重要な経営課題となっており、これまでの一部の業務のデジタル化に留まらず、大企業を中心に全社横断的なDX投資が加速し、市場の拡大をけん引しています。

また、DXの市場規模拡大に伴い、IT産業における外部委託（BPO）市場規模も拡大しています。他方で、DXを推進するためのITエンジニアは不足しており、人材の需給は逼迫している状況です。

このような市場環境に対して、当社グループでは広範なビジネスパートナーネットワーク「Ohgi」を有しており、顧客のIT人材の需要に対して迅速に適切な人材を見つけられる体制を築いております。中小IT企業とそこに所属する従業員のデータベースである「Ohgi」は、顧客の人材ニーズに 대응されるよう現在もネットワークを拡大中です。また、「Ohgi」を活用してプロジェクト体制を組むことで従業員数以上のDX案件受注が可能になり、この点も当社グループの強みとなっています。

このような状況のもと、当社グループの経営状況は、DX支援については、支援実績の増加等により製造業・建設業を中心としたDXを手掛ける会社としての評価は徐々に高まり、新規案件の引き合いは増加傾向にあります。既存顧客のフォロー及び新規顧客の獲得に注力した結果、売上高は7,606,451千円（前年同期比28.1%増）となりました。

IT人材調達支援については、既存大手SIerとの着実な取引拡大と新規顧客開拓に引き続き注力しております。営業人員を増員し継続的に体制強化を図っていることで受注は順調に増加しており、ビジネスパートナーネットワーク「Ohgi」の拡大により供給力も増加傾向にあります。なお、当連結会計年度において新たに株式会社ピージーシステム及び株式会社電創を完全子会社化し連結しております。その結果、売上高は8,314,848千円（前年同期比34.7%増）となりました。

当連結会計年度の経営成績は、売上高15,921,300千円（前年同期比31.4%増）、営業利益1,744,420千円（前年同期比55.6%増）、経常利益1,765,217千円（前年同期比54.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,303,214千円（前年同期比55.7%増）となりました。

なお、当社グループはDX関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

#### (売上高)

当連結会計年度における売上高は、前事業年度と比べ3,808,097千円増加し、15,921,300千円（前年同期比31.4%増）となりました。DX支援においては、製造業・建設業への支援実績の増加等によりDXにおける当社の認知度も高まり、新規顧客への拡販や、既存顧客との継続的な取引拡大により売上高は7,606,451千円（前年同期比28.1%増）となりました。IT人材調達支援においては、引続き大手SIerとの継続的な取引拡大と新規顧客開拓に注力し、営業人員の増員や外注先パートナーの拡大を図ったことにより売上高は8,314,848千円（前年同期比34.7%増）となりました。

## (売上原価、売上総利益)

当連結会計年度における売上原価は、前事業年度と比べ2,222,628千円増加し、11,605,941千円(同23.7%増)となりました。これは主に売上増加に伴う外注費の増加によるもので、DX支援においては509,130千円(同12.2%増)、IT人材調達支援においては1,713,498千円(同32.9%増)増加しました。

この結果、当連結会計年度における売上総利益は、DX支援においては2,924,428千円(同65.5%増)、IT人材調達支援においては1,390,930千円(同44.4%増)となり、前事業年度と比べ1,585,469千円増加し、4,315,359千円(同58.1%増)となりました。

## (販売費及び一般管理費、営業利益)

当連結会計年度における販売費及び一般管理費は、前事業年度と比べ962,021千円増加し、2,570,938千円(同59.8%増)となりました。これは主に、新卒・経験者採用による人件費、決算賞与に係る賞与引当金繰入額の増加によるものです。

この結果、当連結会計年度における営業利益は、前事業年度と比べ623,448千円増加し、1,744,420千円(同55.6%増)となり、売上高営業利益率は11.0%(前事業年度末は9.3%)となりました。

## (営業外損益、経常利益)

当連結会計年度の営業外収益は、主に持分法による投資利益の増加により、前事業年度と比べ16,748千円増加し、49,161千円(同51.7%増)となりました。営業外費用は主に自己株式の取得に伴う費用の発生により、前事業年度と比べ14,455千円増加し、28,364千円(同103.9%増)となりました。

この結果、当連結会計年度における経常利益は、前事業年度と比べ625,740千円増加し、1,765,217千円(同54.9%増)となりました。

## (特別損益、法人税等、当期純利益)

当連結会計年度の法人税等は、前事業年度と比べ159,352千円増加し、462,002千円(同52.7%増)となりました。

この結果、当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益は、前事業年度と比べ466,388千円増加し、1,303,214千円(同55.7%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における資産合計は6,111,420千円となり、前事業年度末と比べ997,025千円増加いたしました。これは主に、売上の増加に伴い売掛金及び契約資産が744,663千円、企業結合によるのれんが204,641千円、顧客関連資産が94,206千円、基幹システムのリプレイス費用によるソフトウェア仮勘定が120,312千円増加した一方、関係会社株式の取得等により現金及び預金が379,287千円減少したことによるものです。

## (負債)

当連結会計年度末における負債合計は2,902,923千円となり、前事業年度末と比べ634,561千円増加いたしました。これは主に、外注費の増加に伴い買掛金が113,220千円、所得の増加に伴い未払法人税等が191,411千円、定期及び決算賞与に係る賞与引当金が218,950千円増加したことによるものです。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は3,208,497千円となり、前事業年度末と比べ362,464千円増加いたしました。これは主に、ストック・オプションの行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ28,636千円、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が1,303,214千円増加した一方、自己株式の取得を999,786千円実施したことによるものです。この結果、自己資本比率は52.5%(前事業年度末は55.6%)となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ379,287千円減少し、1,819,899千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、業績が順調に拡大した結果、1,162,674千円（前年同期は883,678千円の収入）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,765,217千円、引当金の増加額212,022千円、仕入債務の増加額92,471千円、支出の主な内訳は、売上債権の増加額666,788千円、契約負債の減少額68,309千円、法人税等の支払額353,951千円です。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、429,123千円（前年同期は118,549千円の支出）となりました。

支出の主な内訳は、主にオフィスのレイアウト変更に伴う有形固定資産の取得による支出131,024千円、基幹システムのリプレイスに伴う無形固定資産の取得による支出115,390千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出156,068千円です。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、1,112,838千円（前年同期は92,377千円の増加）となりました。

主な内訳は、ストック・オプション行使に伴う株式発行による収入57,272千円、各金融機関への長期借入金の返済による支出143,087千円、約定に伴う社債の定期償還による支出26,000千円、自己株式の取得による支出999,786千円です。

### (4) 今後の見通し

今後のわが国の経済の見通しにつきましては、国内景気の緩やかな回復が続くことが期待される一方で、中東情勢・ウクライナ紛争の緊迫化や中国経済の低迷、米国の金融引き締め効果等の海外情勢による影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続くものと考えられます。

そのような環境下において、DX支援においては、アウトバウンド営業や「Orizuru」の機能拡充、クラウドソリューションの製品拡大に注力し、製造業・建設業・物流業を中心とした既存顧客の拡大と新規顧客の開拓を進めます。IT人材調達支援においては、引き続き営業人員増強による大手SIerとの取引拡大を進め、地方の中小IT企業を対象とした「Ohgi」のアウトバウンド開拓やM&Aに取り組み、一般人材からハイバリュー人材まで人材提案の幅の拡大に注力します。

以上より、2024年12月期の業績見通しにつきましては、売上高20,856百万円（前年同期比31.0%増）、営業利益2,398百万円（同37.5%増）、経常利益2,399百万円（同35.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,646百万円（同26.3%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で財務諸表を作成しております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

|                |  | 当連結会計年度<br>(2023年12月31日) |
|----------------|--|--------------------------|
| <b>資産の部</b>    |  |                          |
| 流動資産           |  |                          |
| 現金及び預金         |  | 1,819,899                |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 |  | 2,739,281                |
| 仕掛品            |  | 39,573                   |
| 前払費用           |  | 149,625                  |
| その他            |  | 9,801                    |
| 貸倒引当金          |  | △11,788                  |
| 流動資産合計         |  | 4,746,392                |
| 固定資産           |  |                          |
| 有形固定資産         |  |                          |
| 建物（純額）         |  | 187,452                  |
| 工具、器具及び備品（純額）  |  | 131,657                  |
| 土地             |  | 369                      |
| リース資産（純額）      |  | 548                      |
| 有形固定資産合計       |  | 320,027                  |
| 無形固定資産         |  |                          |
| ソフトウェア         |  | 150,446                  |
| のれん            |  | 204,641                  |
| 顧客関連資産         |  | 94,206                   |
| その他            |  | 150                      |
| 無形固定資産合計       |  | 449,443                  |
| 投資その他の資産       |  |                          |
| 関係会社株式         |  | 56,638                   |
| 敷金及び保証金        |  | 257,793                  |
| 繰延税金資産         |  | 243,830                  |
| その他            |  | 37,294                   |
| 投資その他の資産合計     |  | 595,556                  |
| 固定資産合計         |  | 1,365,028                |
| 資産合計           |  | 6,111,420                |

(単位：千円)

当連結会計年度  
(2023年12月31日)

|               |            |
|---------------|------------|
| 負債の部          |            |
| 流動負債          |            |
| 買掛金           | 958,182    |
| 短期借入金         | 100,000    |
| 1年内償還予定の社債    | 10,000     |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,315      |
| リース債務         | 378        |
| 未払金           | 151,233    |
| 未払費用          | 197,863    |
| 未払法人税等        | 421,575    |
| 未払消費税等        | 228,450    |
| 契約負債          | 25,254     |
| 預り金           | 88,887     |
| 賞与引当金         | 523,696    |
| 品質保証引当金       | 8,923      |
| 受注損失引当金       | 39,492     |
| 流動負債合計        | 2,757,253  |
| 固定負債          |            |
| 社債            | 35,000     |
| 退職給付に係る負債     | 21,000     |
| リース債務         | 216        |
| 資産除去債務        | 57,339     |
| 繰延税金負債        | 32,114     |
| 固定負債合計        | 145,670    |
| 負債合計          | 2,902,923  |
| 純資産の部         |            |
| 株主資本          |            |
| 資本金           | 562,173    |
| 資本剰余金         | 526,455    |
| 利益剰余金         | 3,119,067  |
| 自己株式          | △1,000,248 |
| 株主資本合計        | 3,207,447  |
| 新株予約権         | 1,050      |
| 純資産合計         | 3,208,497  |
| 負債純資産合計       | 6,111,420  |



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

|                 | 当連結会計年度<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年12月31日) |
|-----------------|---|
| 売上高             | 15,921,300                                |
| 売上原価            | 11,605,941                                |
| 売上総利益           | 4,315,359                                 |
| 販売費及び一般管理費      | 2,570,938                                 |
| 営業利益            | 1,744,420                                 |
| 営業外収益           |   |
| 受取利息            | 32  |
| 持分法による投資利益      | 31,638                                    |
| 補助金収入           | 15,739                                    |
| その他             | 1,750                                     |
| 営業外収益合計         | 49,161                                    |
| 営業外費用           |   |
| 支払利息            | 1,296                                     |
| 支払手数料           | 23,954                                    |
| その他             | 3,114                                     |
| 営業外費用合計         | 28,364                                    |
| 経常利益            | 1,765,217                                 |
| 税金等調整前当期純利益     | 1,765,217                                 |
| 法人税、住民税及び事業税    | 537,504                                   |
| 法人税等調整額         | △75,501                                   |
| 法人税等合計          | 462,002                                   |
| 当期純利益           | 1,303,214                                 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,303,214                                 |

## 連結包括利益計算書

|              |  | (単位：千円)                                   |
|--------------|--|---|
|              |  | 当連結会計年度<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年12月31日) |
| 当期純利益        |  | 1,303,214                                 |
| 包括利益         |  | 1,303,214                                 |
| (内訳)         |  |   |
| 親会社株主に係る包括利益 |  | 1,303,214                                 |

## (3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

|                     | 株主資本    |         |           |            |           | 新株予約権 | 純資産合計     |
|---------------------|---------|---------|-----------|------------|-----------|-------|-----------|
|                     | 資本金     | 資本剰余金   | 利益剰余金     | 自己株式       | 株主資本合計    |       |           |
| 当期首残高               | 533,537 | 497,819 | 1,814,088 | △461       | 2,844,982 | 1,050 | 2,846,032 |
| 当期変動額               |         |         |           |            |           |       |           |
| 新株の発行               | 28,636  | 28,636  |           |            | 57,272    |       | 57,272    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |         |         | 1,303,214 |            | 1,303,214 |       | 1,303,214 |
| 自己株式の取得             |         |         |           | △999,786   | △999,786  |       | △999,786  |
| 連結及び持分法適用範囲の変動      |         |         | 1,763     |            | 1,763     |       | 1,763     |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) |         |         |           |            | —         |       | —         |
| 当期変動額合計             | 28,636  | 28,636  | 1,304,978 | △999,786   | 362,464   | —     | 362,464   |
| 当期末残高               | 562,173 | 526,455 | 3,119,067 | △1,000,248 | 3,207,447 | 1,050 | 3,208,497 |

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

| (単位：千円)                  |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 当連結会計年度                  |                   |
| (自 2023年1月1日             |                   |
| 至 2023年12月31日)           |                   |
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>  |                   |
| 税金等調整前当期純利益              | 1,765,217         |
| 減価償却費                    | 100,263           |
| のれん償却額                   | 11,526            |
| 引当金の増減額(△は減少)            | 212,022           |
| 受取利息及び受取配当金              | △47               |
| 支払利息及び社債利息               | 1,296             |
| 持分法による投資損益(△は益)          | △31,638           |
| 補助金収入                    | △15,739           |
| 仕掛品の増減額(△は増加)            | 14,408            |
| 売上債権の増減額(△は増加)           | △666,788          |
| 仕入債務の増減額(△は減少)           | 92,471            |
| 契約負債の増減額(△は減少)           | △68,309           |
| 未払金の増減額(△は減少)            | 10,443            |
| 未払消費税等の増減額(△は減少)         | 42,400            |
| 未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少) | 9,787             |
| その他                      | 14,056            |
| 小計                       | 1,491,371         |
| 利息及び配当金の受取額              | 10,812            |
| 利息の支払額                   | △1,296            |
| 補助金の受取額                  | 15,739            |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払)      | △353,951          |
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>  | <b>1,162,674</b>  |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>  |                   |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出       | △246,414          |
| 貸付金の回収による収入              | 520               |
| 保険積立金の解約による収入            | 1,567             |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △156,068          |
| 出資金の払込による支出              | △28,727           |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>  | <b>△429,123</b>   |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>  |                   |
| 長期借入金の返済による支出            | △143,087          |
| 社債の償還による支出               | △26,000           |
| リース債務の返済による支出            | △1,237            |
| 株式の発行による収入               | 57,272            |
| 自己株式の取得による支出             | △999,786          |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>  | <b>△1,112,838</b> |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)      | △379,287          |
| 現金及び現金同等物の期首残高           | 2,199,186         |
| 現金及び現金同等物の期末残高           | 1,819,899         |

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

2023年8月1日に行われた株式会社電創との企業結合について、第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度において確定しております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額91,961千円は、会計処理の確定により46,807千円減少し、45,153千円となりました。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

### 【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、DX関連事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### 【関連情報】

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

#### 1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 2 地域ごとの情報

##### (1) 売上高

国内の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高の金額が連結損益計算書の売上高の金額の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

### 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

### 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

### 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

|                       | 当連結会計年度<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年12月31日) |
|-----------------------|---|
| 1株当たり純資産額             | 188.57円                                   |
| 1株当たり当期純利益            | 76.59円                                    |
| 潜在株式調整後<br>1株当たり当期純利益 | 72.66円                                    |

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|   | 当連結会計年度<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年12月31日) |
|---|---|
| 1株当たり当期純利益  |   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円)                                 | 1,303,214                                 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)                                    | —   |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益<br>(千円)                      | 1,303,214                                 |
| 普通株式の期中平均株式数(株)                                     | 17,013,884                                |
|   |   |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益                                   |   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)                              | —   |
| 普通株式増加数(株)  | 919,711                                   |
| (うち新株予約権(株))  | (919,711)                                 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり<br>当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | —   |

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

当社は、2024年2月13日開催の取締役会において、株式会社Pros Cons（以下「Pros Cons社」）の発行済株式650株を、2024年2月16日付で取得し、子会社化することについて決議いたしました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社Pros Cons  
事業の内容 AIを活用したシステムの企画・設計・開発事業、外観検査AIソフトウェア  
「Gemini eye」の開発・販売、外観検査装置の設計・製造・販売

## (2) 企業結合を行った主な理由

Pros Cons社は、独自の良品学習AIアルゴリズムを利用した自社開発ソフトウェア「Gemini eye」と外観検査装置を保有しており、製造業の大手企業向けにソフトウェア、ハードウェア両面から外観検査を自動化するソリューション（外観検査AIソリューション）を手掛けております。

当社は、Pros Cons社を完全子会社化することにより、当社のスマートファクトリーソリューション「Orizuru MES」に上記の外観検査AIソリューションを組み込むことで製品力の強化が期待でき、また、クロスセルや採用、人材育成のノウハウ提供等によりPros Cons社の成長に貢献することで、両社の発展を実現できると判断いたしました。

- (3) 企業結合日  
2024年2月16日（予定）
- (4) 企業結合の法的形式  
現金を対価とする株式取得
- (5) 結合後企業の名称  
変更はありません
- (6) 取得した議決権比率  
100%
- (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠  
当社が現金を対価として、株式を取得したためです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

|       |        |        |
|-------|--------|--------|
| 取得の対価 | 現金及び預金 | 280百万円 |
| 取得原価  |        | 280百万円 |

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 29百万円（概算）

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

#### 4. その他

##### 役員の異動

- ① 代表者の異動  
該当事項はありません。
  
- ② その他の役員の異動(2024年3月28日予定)  
退任予定取締役  
取締役CTO 田口 紀成